

むかわ町立 穂別博物館報

第25号

平成19（2007）年度版

むかわ町立穂別博物館

目 次

●	沿	革	----- (p . 1)
●	施 設 の 概 要		----- (p . 4)
●	施 設 平 面 図		----- (p . 4)
●	展 示 活 動		----- (p . 5)
●	広 報 活 動		----- (p . 6)
●	普 及 教 育 活 動		----- (p . 7)
●	収 蔵 資 料 概 要		----- (p . 1 1)
●	資 料 収 集 保 存 活 動		----- (p . 1 1)
●	調 査 研 究 活 動 ほ か		----- (p . 1 4)
●	運	営	----- (p . 1 5)

● 沿 革

「この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されたものである。」

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

I 「建設の目的」と「展示更新」・「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年（町制施行20年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

（昭和55(1980)年11月26日）

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

（平成2(1990)年6月27日）

〈市町村合併による名称変更〉

平成18(2006)年3月27日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUMの略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町立穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

Ⅱ 沿 革

＊本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。

- ・「長頸竜」：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式。
- ・「首長竜」：「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・「クビナガリュウ」：長頸竜の通称として使用。
- ・「ホベツアラキリュウ」：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称。

昭和50(1975)年

6月：穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏（穂別町在住）。

昭和51(1976)年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定依頼。

昭和52(1977)年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鰭の一部と確認。

7月5～8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

昭和53(1978)年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始

11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和54(1979)年

5月：長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定

昭和55(1980)年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和56(1981)年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和56(1981)年

7月～12月：博物館建設工事

9月1日：鈴木 茂学芸員就任（～昭和60年3月31日）

昭和57(1982)年

1月16日：長頸竜復元作業開始

3月～6月：博物館展示工事

7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）

8月26日：「博物館協議会」発足

11月1日：北海道博物館協会加入

12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開

12月19日～1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和58(1983)年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）

3月28日：「博物館協力会」設立

4月1日：日本博物館協会加入

4月28日：菅原康次（第二代）館長就任

7月22日～8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」

8月1日：全国科学博物館協議会加入

11月1日～3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和59(1984)年

2月：村上 隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊

3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始

6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成

11月1日～4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」

12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和60(1985)年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始

5月1日：地徳 力学芸員就任（～平成11年3月31日）

11月1日～10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和61(1986)年

10月21日～11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和62(1987)年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）

7月28日～8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和63(1988)年

7月17日：第三展示室（保存庫）完成

8月23日～9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」

10月6日：今 幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989)年

6月30日：仲谷 英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表

7月18日～8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」

9月29日～10月6日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣

平成2(1990)年

7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館

8月18日～9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」

9月3日～5日：レイド、M. G. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館

12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成3(1991)年

- 4月1日：佐藤 稔（第七代）館長就任
- 4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成4(1992)年

- 2月1日：展示更新工事開始
- 4月23日～25日：カーリー、P. J. 氏（アルバータ州ティール古生物学博物館）来館
- 4月29日：展示更新完了、一般公開再開

平成6(1994)年

- 4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月1日：川上 源太郎学芸員就任（～平成10年3月31日）

平成7(1995)年

- 7月15日～9月12日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティール古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日：かせき学習館完成

平成8(1996)年

- 7月27日～28日：'96北海道化石サミット開催（穂別町民センター）
- 10月6日：大江美津夫（第九代）館長就任

平成9(1997)年

- 7月6日、7月10日～8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展（第8回特別展）

平成10(1998)年

- 4月1日：櫻井和彦学芸員就任（現任）
- 6月11日：星 功（第十代）館長就任
- 8月11日～8月31日：特別展（第9回）「地球物語り（地質学普及書の近代史）」

平成11(1999)年

- 1月1日：山田 正（第十一代）館長就任
- 5月29日：入館者30万人突破記念事業
- 8月1日～8月31日：特別展（第10回）「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日～11月28日：特別展（第11回）「穂別の自然」

平成12(2000)年

- 8月1日～8月31日、9月14日～10月1日：特別展（第12回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日～10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」

平成13(2001)年

- 8月1日～8月25日：特別展（第13回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」

平成14(2002)年

- 4月28日～5月17日：特別展（第14回）「ツノのある奇妙なカメラ海-穂別からリクガメ化石の発見-」
- 7月1日～21日：特別展（第15回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」（再公開）
- 7月20日：開館20周年記念講演・討論会「化石の里（まち）の博物館」
- 7月27日～8月9日：博物館協力会企画展「穂別の化石」

- 8月31日～9月27日：特別展（第16回）「穂別のカメラ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」

平成15(2003)年

- 1月1日：清川博之（第十二代）館長就任
- 7月20日～8月31日：特別展（第17回）「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日～1月31日：特別展（第18回）「虫とくらし」（協力：北海道開拓記念館）

平成16(2004)年

- 7月17日～8月31日：特別展（第19回）「クジラとデスモスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
- 10月30日～12月12日：特別展（第20回）「火山と地震 -佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」

平成17(2005)年

- 7月16日～8月31日：特別展（第21回）「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日～12月18日：特別展（第22回）「絵はがきは語る -旅の思い出・昔のまちなみ-」

平成18(2006)年

- 3月27日：「むかわ町」誕生（穂別町・鶴川町の合併による）、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
- 3月27日：本多廣行（第十三代）館長就任
- 7月15日～9月3日：特別展（第23回）「貝が語る むかわの一億年」
- 10月28日～12月17日：特別展（第24回）「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」

平成19(2007)年

- 4月1日：柏恵一（第十四代）館長就任
- 7月21日～9月2日：特別展（第25回）「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
- 11月3日～12月2日：特別展（第26回）「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」

●施設の概要

【位 置】
北海道勇払郡むかわ町穂別80番地6

【町立博物館】
[構造規模]
建築構造：鉄筋コンクリート平屋建
建築面積：1,100m²

常 設 展 示 室	372.88m ²
特 別 展 示 室	99.08m ²
收 藏 庫	86.56m ²
事 務 室	40.50m ²
研 究 室	31.50m ²
整 理 室	29.92m ²
學 習 展 示 室	184.75m ²
書 庫	35.05m ²
共 用 部 門	219.76m ²

昭和56年度～57年度

3億6,216万5,000円

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作

〔更新事業費〕
平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税
2,910,000円）

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税
2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

【かせき学習館】
[構造規模]
建築構造：鉄筋コンクリート平屋建
建築面積：325.89m²

〔構造規模〕
建築構造：鉄筋コンクリート平屋建
建築面積：325.89m²

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

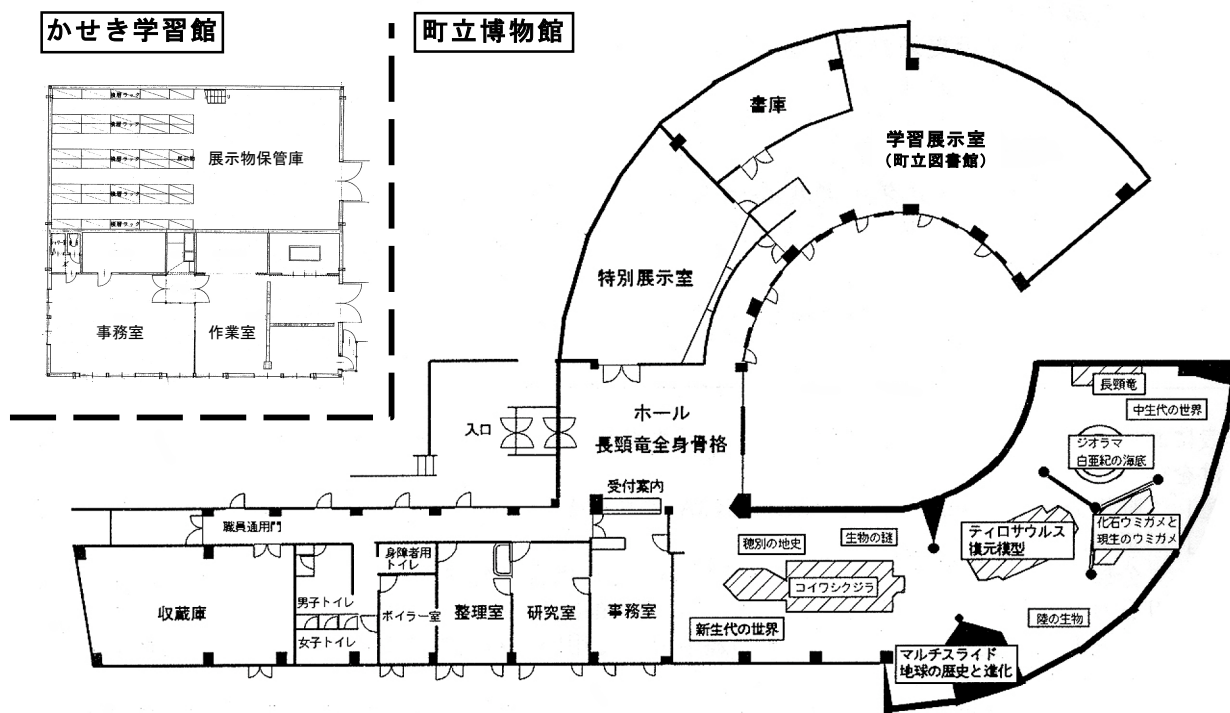
事務室	56.70㎡
作業室	56.70㎡
書庫	14.04㎡
レプリカ室	12.15㎡
処理室	12.15㎡
展示物保管庫	162.00㎡
共用部門	12.15㎡

平成7年度

〔総事業費〕
5,709万2,900円（消費税込み）

5,709万2,900円（消費税込み）

●施設平面図



●展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示する。

【常設展示の変更】

平成19(2007)年4月11日	アンモナイト (HMG-841) をHMG-840に入れ換え (貸出しのため)
平成19(2007)年4月26日	ホールにイノセラムス (HMG-1393) を展示
平成19(2007)年5月10日	ホベツアラキリュウの胃石を展示
平成19(2007)年6月5日	アンモナイト入れ換え (2点追加・1点搬出→四季の館PRコーナーで展示)
平成19(2007)年6月6日	探検シート入れ換え (8枚→4枚:低学年向け1枚 + 高学年向け3枚)
平成19(2007)年8月25日	ゴマフアザラシ骨格展示替え (露出・パネル追加)
平成19(2007)年12月28日	モササウルス・ホベツエンスシスの復元画を展示
平成19(2007)年12月29日	干支の展示「ネズミはすごい！」
平成20(2008)年1月11日	海生哺乳類 (クジラ等) ミニチュア展示
平成20(2008)年3月28日	「ホッピーくんとおともだち」パズル設置

【常設展示資料】

種 別	分 類		点数	計
化 石	脊椎動物	魚 類	7	258
		爬虫類（長頸竜11*・モササウルス8*・カメ6・他2）	27	
		哺乳類（クジラ8・デスモスチルス2・他10*）	20	
	その他動物	軟体動物（頭足類91・腹足類31・斧足類40・他4）	166	
		その他（甲殻類9・その他11）	20	
	植 物		16	
	生 痕		2	
現生生物	脊椎動物	爬虫類（カメ）	3	12
		哺乳類（クジラ5・鯨脚類1）	6	
	その他動物	軟体動物（頭足類）1・甲殻類1	2	
	植 物		1	
復元模型	脊椎動物	爬虫類（長頸竜1・モササウルス1・カメ1）	3	3
その他	岩 石 標 本 等		21	21
合 計			294	

*: レプリカ含む (2008年3月31日現在)

II 特別展示

【夏季特別展】「むかわの一億年-化石と石が語る五つの海-」: 7月21日-9月2日

鵜川地区まで含めて、むかわ町の一億年の歴史を紹介する。化石や岩石からわかる、むかわ町の一億年の歴史を、5つの時代に分けて紹介。

「一億年を歩いてみよう！」(一億年を10mで表現した歴史年表)、当時の海の様子を再現した復元画、化石のジグソーパズル、化石のクイズなど。

【秋季特別展】「鉱山のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」: 11月3日-12月2日

北海道開拓記念館協力。かつて栄えた、穂別地区の鉱業(石炭、クロム、石油等)について、盛衰の歴史、採掘の様子などを紹介。夕張寄りの地域に炭鉱があること、蛇紋岩にともなってクロム鉱山が栄えたことを解説。その他、町内にて調査された鉱物資源の紹介。

「測量器をのぞいてみよう」「磁石につく石はどれ?」、展示内容に関するクイズ、期間中に穂別産鉱石をおみやげとして配布。

Ⅲ 年間入館者数

分類		平成15年度 (2003)	平成16年度 (2004)	平成17年度 (2005)	平成18年度 (2006)	平成19年度 (2007)
個人	一般	8,300	7,954	6,843	6,191	6,661
	学生	3,740	3,567	2,963	2,746	3,106
団体	一般	781	775	691	520	322
	学生	679	988	715	931	764
計		13,500	13,284	11,212	10,388	10,853

学生は小学校～高校生、一般は高校生より上、幼児（無料）はこの表には含まれていない（単位：人）

個人：割引入館者（地球体験館との共通利用割引）・無料入館者（特定入館日、減免等）含む、団体：10名以上

●広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

269号＜平成19(2007)4月＞：「博物館の今年の予定
／学校にクビナガリュウが！」

270号＜平成19(2007)5月＞：「平成18年度寄贈資料
／新しいメンバーです」

271号＜平成19(2007)6月＞：「モサゴンのひみつ1
／GWの体験コーナー」

272号＜平成19(2007)7月＞：「モサゴンのひみつ2
／夏のほべつ化石まつり」

273号＜平成19(2007)8月＞：「モサゴンのひみつ3
／穂別D遺跡見学会」

274号＜平成19(2007)9月＞：「モサゴンのひみつ4
／夏休みの体験コーナー」

275号＜平成19(2007)10月＞：「モサゴンのひみつ5
／四季の館のおおきなアンモナイト」

276号＜平成19(2007)11月＞：「モサゴンのひみつ6
／むかし、穂別に炭鉱があった」

277号＜平成19(2007)12月＞：「モサゴンのひみつ7
／冬の行事紹介」

278号＜平成20(2008)1月＞：「今年の干支、ネズミ
はすごい！／ヒグマの足跡」

279号＜平成20(2008)2月＞：「モサゴンのひみつ8
／クマのはなし」

280号＜平成20(2008)3月＞：「モサゴンのひみつ9
／シカのツノはなぜあるの？」

【博物館のPRコーナー等】

平成19(2007)年4月27日：博物館HPのリニューアル

平成19(2007)年7月10日：「四季の館」展示コーナー
のリニューアル（アンモナイト展示）

平成20(2008)年2月10日：博物館PRちらしの設置
（道の駅「マオイの丘」）

【新聞掲載】

〔北海道新聞苫小牧圏「とまにち博物誌」〕

平成19(2007)年8月3日：「化石と石が語る5つの海－
過去からの手紙 読もう」（連載19回め）

平成19(2007)年11月23日：「鉱業で栄えた穂別－
通洞 歴史振り返る窓口」（連載20回め）

平成20(2008)年3月28日：「何の化石かな？－海の生
き物いっぱい」（連載21回め）

【ラジオ放映】

平成19(2007)年5月27日：AIR-G'「ほっかいどう宝
島2007」で博物館のPR

平成19(2007)年7月26日：FMアップル（札幌）で
特別展・博物館の紹介

平成20(2008)年1月11日：ラジオカロス（札幌）と
電話中継「ネズミの話」

【広告等掲載】

【じゃらん】

平成19(2007)年5月号「じゃらん」（広告掲載）

平成19(2007)年8月号「じゃらん」（広告掲載）

●普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学校～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【特別展】

夏季特別展(第25回)「むかわの一億年 - 化石と石が語る五つの海 -」

＜平成19(2007)年7月21日～9月2日＞：見学3,780人
（内、町内50人：見学者名簿による）

[特別展関連事業]

「クイズ」(期間中、会場で実施)：252人
（内、町内12人）

秋季特別展(第26回)「鉱山のまち、ほべつ - 穂別の炭鉱と鉱山の歴史 -」

＜平成19(2007)年11月3日～12月2日＞：見学865人
（内、町内214人＜24.7%＞：町内学校等122人＋見学者名簿92人）

[特別展関連事業]

「クイズ」(期間中、会場で実施)：108人（内、町内44人）おみやげ「穂別の鉱石」：353個

【マイ・ミュージアム（企画展）】

：特別展示室を活用することで、町民一人一人に「自分たち町民の博物館」として親しみをもちてもらうことをめざす。町民の作品やコレクション、当館で保管する資料を展示し、お互いに見て楽しむ活動とすることが目的。

第15回「稲里小展」＜平成19(2007)年4月7日～4月22日＞町内の小学校中学校の2人が化石について調べまとめた成果を展示：見学210人

第16回「大きなアンモナイト展」＜平成19(2007)年4月28日～5月20日＞穂別で見つかった大きなアンモナイトを紹介。同時開催「穂別の小さなアンモナイト」展：見学2,771人

第17回「私のお宝展」＜平成20(2008)年1月26日～2月11日＞町民が作成した絵画や作品、収集品、プロ野球選手のユニフォームなどを展示：見学102人

【町民文化祭】

：穂別町民文化祭に出展（穂別スポーツセンター）。写真展「穂別の鳥」＜平成19(2007)年10月26日～28日＞穂別で生息する鳥の写真を展示：見学者多数

【ホッピー化石アドベンチャー】

：町内の4年生以上を対象に、一年を通じて穂別の化石を学ぶ。平成19年度の会員は5人（町内小～高校生）。全6回実施。

第1回＜平成19(2007)年5月19日＞「展示見学・化石クリーニング」：小4

第2回＜平成19(2007)年6月16日＞「化石採集1・展示室の見学」：小4

第3回＜平成19(2007)年8月11日＞「レプリカ作り1・夏の特別展見学」：小3

第4回＜平成19(2007)年9月15日＞「化石採集2」：小1

第5回＜平成19(2007)年11月17日＞「レプリカ作り2・秋の特別展見学」：小3

第6回＜平成19(2007)年12月8日＞「展示の準備」ホッピー化石アドベンチャー展2007の準備・閉会式：小4

「ホッピー化石アドベンチャー展2007」

＜平成19(2007)年12月11日～12月24日＞会員の一年間の成果の展示：見学46人（うち町内14人）

【化石の体験学習】

化石採集会：学習用地にて化石採集の体験

（参加者計：小10・大8）

第1回＜平成19(2007)年6月10日＞：小5・大4

第2回＜平成19(2007)年8月19日＞：小5・大4

化石クリーニング体験

：かせき学習館にて化石クリーニングの実習

（参加者計：小11・大11）

第1回＜平成19(2007)年8月1日午前＞：小2・大3

第2回＜平成19(2007)年8月1日午後＞：小2・大4

第3回＜平成19(2007)年8月2日午前＞：小1・大1

第4回＜平成19(2007)年8月2日午後＞：小6・大3

化石レプリカ作成体験

：館外などでレプリカ作成の体験 9回

（参加者計：436人）

流送まつり＜平成19(2007)年＞

7月29日：レプリカ作り（石膏・着色）：25人

レプリカ作り（自由樹脂）：34人

穂別キャンプ場＜平成19(2007)年＞

8月 3日：レプリカ作り（石膏・着色）：28人

レプリカ作り（自由樹脂）：23人

8月12日：レプリカ作り(石膏・着色)：32人
レプリカ作り(自由樹脂)：51人

鷗川地区対応：四季の館<平成19(2007)年>

8月 4日：レプリカ作り(石膏・着色)：31人
10月 6日：レプリカ作り(自由樹脂)：74人
11月 4日：レプリカ作り(自由樹脂)：138人

夏休み対応：穂別キャンプ場<平成19(2007)年>

8月 3日：レプリカ作り(石膏・着色)：28人
8月12日：レプリカ作り(自由樹脂)：51人

化石体験(来館者対象)

：来館者に手軽にクリーニングやレプリカ作
を体験してもらう<平成19年(2007)年>
GW、5月～9月の土日、夏休み(計52日間)
(参加者計1,506人)

化石クリーニング体験：782人(土曜日実施)
レプリカ作り体験(石膏)：519人(日曜日実施)
レプリカ作り体験(自由樹脂)：205人※
※土曜日 雨天時実施

石割体験

：穂別産のノジュールをハンマーで叩き化石を
見つける<平成19(2007)年>
GW : 5月4日、5日
夏休み：7月30日、31日、8月1日、2日
(参加者計：105人)

レプリカ作り体験(冬季)

：冬期間、来館者を対象にレプリカ作りを実施
<平成19(2007)年12月22日～24日、27日～30日
平成20(2008)年1月8日、9日、12日～14日、17日
～20日(計16日間) (参加者計：13人)

【観察会】

：穂別D遺跡見学会<平成19(2007)年7月20日>
(参加者計：24人)

【新春プレゼント】

：来館者に「穂別の石」(蛇紋岩・チャート)をプ
レゼント。石の解説と、磨き方の説明文を同封
<平成19(2007)年1月6日～1月31日>
(配布：蛇紋岩32個・チャート34個)

【ジオラマ・クラフトづくり】

：冬休み自由研究対応。「クビナガリュウの海」の
ジオラマづくり。「クビナガリュウ、モササウル
ス」のクラフトづくり。(参加者計：26人)
平成20(2008)年1月10日 博物館 : 14人
平成20(2008)年1月11日 四季の館：12人

【ホッピー劇場】

：保育所にて、穂別の化石を紹介する紙芝居や
ハンドパレットの上演。(計：幼137人)
平成20(2008)年2月28日 たんぽぽ保育所 : 幼16
平成20(2008)年3月 4日 栄和保育所 : 幼17
さくら保育所 : 幼60
平成20(2008)年3月 5日 ひまわり保育所 : 幼22
春日さくら保育所: 幼12
平成20(2008)年3月 6日 富内保育所 : 幼10

【ワークシート等】

[博物館探検シート]

：展示室の内容や化石について学ぶ(全8枚)
平成19(2007)年4月1日～平成20(2008)年3月31日
：1,207人(内、町内75人)

[化石が語る絵物語]

：塗り絵絵本の図を使い、簡略化したシート。A4
両面・各1枚(2種類)
「クビナガリュウの海」
「デスモスチルスの海」

[ミニジオラマ(クビナガリュウの海)]

：クビナガリュウの泳いだ海を、自分だけのジオ
ラマ(立体模型)として作る原図シート

Ⅱ その他事業

【運営協力など】

[他館の主催事業等]

「日高山脈館セミナー『石・鉱物・化石の鑑定会
2007』」(日高町)<平成19(2007)年11月3日>:
講師(化石担当)

Ⅲ 町内団体等の利用

学芸員等が対応したものは＜＞で内容を示した
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

【町内学校・教育関係団体】

平成19(2007)年5月：

12日：稲里小学校高学年＜新聞取材(化石について質問)＞(小2)

15日：仁和中学校3年(選択理科)＜化石採集1＞(小6・大2)

17日：穂別小学校4年＜新聞取材(恐竜について質問)＞(小3)

18日：稲里小学校高学年＜新聞取材(化石について質問)＞(小2)

23日：仁和中学校3年(選択理科)2年＜化石採集2＞(小13・大2)

24日：町教研(理科)＜展示見学・化石採集＞(大7)

：町教研(社会)＜展示見学＞(大7)

平成19(2007)年6月：

5日：仁和中学校3年(選択理科)＜化石採集3＞(小6・大1)

13日：稲里小学校 全学年＜化石採集＞(小6・大2)

19日：仁和中学校3年(選択理科)＜化石クリーニング・レプリカ＞(小7：大2)

26日：仁和中学校3年(選択理科)＜展示見学＞(小7・大1)

平成19(2007)年7月：

10日：鵜川高校1年(理科)＜化石クリーニング＞(小59・大2)

12日：生田小学校 全学年＜化石クリーニング＞(小9・大3)

20日：仁和小学校(小10・大2)

平成19(2007)年8月：

6日：鵜川地区児童クラブ(小40・大6)

22日：仁和中学校3年(選択理科)＜展示見学＞(小7・大1)

平成19(2007)年9月：

6日：町教研(理科)＜化石クリーニング＞(大7)

14日：仁和中学校3年(選択理科)＜発表会(成果発表)＞(小7・大1)

19日：稲里小学校高学年＜地質見学＞(小3・大1)

20日：宮戸保育園(幼12・大3)

29日：富内小学校1・2年＜展示見学・質問対応＞(小6・大1)

平成19(2007)年10月：

5日：穂別高校1年＜化石採集＞(小35・大2)

平成19(2007)年11月：

14日：鵜川中央小学校4年(社会科見学)＜展示室・特別展・学習館収蔵庫・中村記念館＞(小57・大3)

27日：稲里小学校中学年＜特別展見学＞(小3・大1)

28日：穂別小学校3年＜特別展見学・質問対応＞(小26・大1)
：穂別小学校4年＜特別展見学＞(小23・大1)

29日：生田小学校 全学年＜レプリカ作り＞(小9・大3)

平成19(2007)年12月：

4日：さくら保育園(幼28・大2)

平成20(2008)年3月：

25日：田浦ひまわり保育所＜展示見学・レプリカ作成他＞(幼21・大3)

【町内各種団体】

平成19(2007)年6月：

14日：穂別地球体験館 新人ガイド研修＜展示見学＞(大2)

平成19(2007)年8月：

12日：むかわ子ども地球環境探検隊＜展示見学＞(小35・大12)

Ⅳ 町外団体の利用

学芸員等が対応したものは＜＞で内容を示した
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学

【町外学校・教育関係団体】

平成19(2007)年5月：

29日：札幌市立月寒中学校(小202・大14)

平成19(2007)年6月：

21日：長沼高校(小78・大5)

29日：日高町庫富保育所＜展示見学・レプリ
カ＞(幼7・大2)

平成19(2007)年7月：

10日：和光地区民児協(大30)

10日：日高小学校1年「見学旅行」(大3・小11)

11日：千歳フリースクール おあしす＜展示見
学・化石クリーニング＞(小8・大4)

12日：厚真中央小学校5年「宿泊研修」＜展示
見学・化石クリーニング＞(小27・大4)

平成19(2007)年8月：

9日：千歳青少年教育財団「自然教室」＜展示
見学＞(小42・大1)

17日：厚真町富里子供会＜展示見学・化石ク
リーニング＞(小4・大3)

平成19(2007)年9月：

30日：富川子供会＜展示見学・化石クリー
ニング＞(小8・大5)

平成19(2007)年11月：

9日：南富良野町立幾寅小学校＜展示見学＞
(小22・大2)

【町外各種団体】

平成19(2007)年4月：

17日：前田・伊藤JV「研修」＜化石クリー
ニング＞(大3)

平成19(2007)年5月：

10日：FM北海道(AIR-G')取材対応＜展示見学＞
(大3)

18日：リクルートじゃらん＜施設見学＞(大2)
：胆振管内浄土真宗西本願寺「子どもの集
い」下見＜展示見学＞(大5)

平成19(2007)年6月：

24日：胆振管内浄土真宗西本願寺「子どもの集
い」＜展示見学＞(幼5・小28・大5)

29日：NPO環境防災総合政策研究機構＜展示見
学＞(大2)

平成19(2007)年7月：

8日：里塚緑ヶ丘ニューさわやかクラブ(大26)

平成19(2007)年8月：

5日：JSNサッカークラブ(小69・大8)

7日：子供英会話ミネルヴァ(小73・大11)

8日：日本福音ルーテル協会(小50・大6)

：子供英会話ミネルヴァ(小74・大12)

10日：母子通園センター交流会(小27・大20)

26日：室蘭市体育指導委員会(大12)

平成19(2007)年9月：

5日：小樽富岡カトリック教会＜展示見学＞
(大10)

13日：日本地質学会第114年学術大会 見学旅行
＜展示見学＞(大6)

30日：むかわ町地域資源活用事業「現地視察会」
＜展示見学＞(大10)

：サンプラザスイミングスクール(小36・
大3)

平成19(2007)年10月：

4日：むかわ町地域資源活用事業「現地視察会」
＜展示見学＞(大9)

13日：文学岩見沢の会(大36)

21日：十勝自然史研究会＜展示見学＞(大24)

平成19(2007)年11月：

3日：NPO法人室蘭地域共同作業所(小2・大47)

11日：胆振地域子ども会(大17)

●収蔵資料概要（登録資料）

【自然史系登録資料（HMG）】 1,437点

地質・化石資料

【自然系登録資料（HMB）】 124点

現生動植物資料

【人文系登録資料（HMC）】 3,831点

民俗・歴史資料

計5,392点（2008.3.31.現在）

●資料収集保存活動

I 寄 贈

（敬称略）

【自然史系資料】（23件・763点）

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2007-002	アンモナイト	1	鹿戸 辰幸
2007-003	イノセラムス	3	千歳化石会
2007-004	アンモナイト	1	大裏 瑞穂
2007-005	脊椎動物化石	1	堀田 良幸
2007-006	アンモナイト	1	佐々木 誠
2007-007	化石含有ノジュール	84	高橋 博志
2007-008	化石含有ノジュール	1	笠巻 袈裟男
2007-009	脊椎動物化石	1	堀田 良幸
2007-010	化石含有ノジュール	486	堀田 良幸
2007-011	アンモナイト	1	堀田 直幸
2007-014	アンモナイト他	36	鹿島・熊谷・みらい 特定建設工事 共同企業体
2007-015	化石含有ノジュール	116	穂別博物館協 力会
2007-019	化石含有ノジュール	1	千歳化石会
2007-020	化石含有ノジュール	1	千歳化石会
2007-024	化石含有ノジュール	12	笠巻 袈裟男
2007-025	アンモナイト	1	千歳化石会
2007-026	アンモナイト	1	千歳化石会
2007-031	クロム鉄鉱	1	蟹江 康光
2007-034	アンモナイト	1	千歳化石会
2007-045	アンモナイト	1	阿部 利春
2007-048	岩石標本（凝灰岩、凝 灰質礫岩、方解石など）	10	鹿島・熊谷・みらい 特定建設工事 共同企業体
2007-055	石炭	1	横山 宏史
2007-056	脊椎化石（白亜紀）	1	堀田 良幸

【自然系資料】（2件・2点）

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2007-046	剥製標本（キジ）	1	横山 弘志
2007-052	剥製標本（キジ）	1	弦巻 陽子

【人文系資料】（2件・2点）

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2007-032	穂別町テレビ共同受信 施設組合 出資之証	1	中村 智子
2007-054	8mm 映写機	1	横山 宏史

【その他】（1件・63点）

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2007-053	地学関連文献	63	佐藤 昌人

II 採 集

【自然史系資料】（21件・62点ほか）

化石含有ノジュール等：37

二枚貝等：3・岩石標本多数

【自然系資料】（3件・5点）

動物標本〈シカ等〉・ハチの巣

III 野外調査活動

【現地調査】 11回

うち、千歳化石会と合同調査：4回

4月：5、29

7月：1

9月：19

10月：7、12、18、19、25

11月：3、20

IV 新規登録資料

登録番号：資料名／受入番号／寄贈（採集）者名

【自然史系資料（HMG）】（化石・地質）：38点

- HMG-1407：アンモナイト
(*Calycoceras(Newboldiceras)asiaticum*)／
1998-118／穂別町立博物館
- HMG-1408：アンモナイト(*Peroniceras* sp.)／
1986-142／三上 卓也
- HMG-1409：アンモナイト(*Patagiosites compressus*)／1997-031／穂別町立博物館協力会
- HMG-1410：アンモナイト(*Eupachydiscus* sp.)1986-193／穂別町教育委員会
- HMG-1411：アンモナイト(*Eupachydiscus* sp.)／
1986-184／穂別町教育委員会
- HMG-1412：アンモナイト(*Pachydiscidae*. gen. et sp. indet.)／2002-038／高橋 博志
- HMG-1413：アンモナイト(*Eupachydiscus* sp.)／
2001-045／千歳化石会
- HMG-1414：アンモナイト(*Anapachydiscus* sp.)／2002-022／阿部 利春
- HMG-1415：アンモナイト(*Anapachydiscus* sp.)／2002-024／阿部 利春
- HMG-1416：アンモナイト(*Eupachydiscus* sp.)／
1991-007／山越組(株)
- HMG-1417：アンモナイト(*Pachydesmoceras?* sp.)／
1986-192／千代川 謙一
- HMG-1418：アンモナイト(*Eupachydiscus haradai*)／1986-162／間瀬 藤雄
- HMG-1419：アンモナイト(*Eupachydiscus haradai*)／1986-163／間瀬 藤雄
- HMG-1420：アンモナイト(*Romaniceras* sp.)／
1997-038／穂別町立博物館
- HMG-1421：アンモナイト／1998-121／穂別町立博物館
- HMG-1422：アンモナイト／1992-036／博物館協力会化石部会
- HMG-1423：アンモナイト／1992-037／高橋 博志
- HMG-1424：アンモナイト(*Damesites damesi*)／
2006-044／千歳化石会（平澤 准幣）
- HMG-1425：アンモナイト(*Mesopuzosia?* sp.)／
2001-040／穂別町立博物館協力会
- HMG-1426：アンモナイト(*Kossmaticeras* sp.)／
1998-046／穂別町立博物館
- HMG-1427：ウニ／2005-063／阿部 利春
- HMG-1428：貝化石含有砂岩／2000-061／田中 豊
- HMG-1429：珪化木／2003-071／穂別町立博物館
- HMG-1430：植物化石／2005-069／村上 隆
- HMG-1431：植物化石／2005-069／村上 隆
- HMG-1432：植物化石／2005-069／村上 隆

- HMG-1433：植物化石／2005-069／村上 隆
- HMG-1434：植物化石／2005-069／村上 隆
- HMG-1435：植物化石／2005-069／村上 隆
- HMG-1436：長頸竜化石／2006-047／堀田 良幸
- HMG-1437：アンモナイト／2007-014／鹿島・熊谷・みらい特定建設工事共同企業体
- HMG-1438：二枚貝化石／1993-014／嶋原 崇之
- HMG-1439：二枚貝化石／1993-014／嶋原 崇之
- HMG-1440：アンモナイト(*Yubariceras* sp.)／
2007-050／石崎 正行
- HMG-1441：アンモナイト(*Yubariceras* sp.)／
2007-050／石崎 正行
- HMG-1442：いろいろなアンモナイト
(*Damesites, Eubostriochoceras, sciponoceras* 等)／
2007-051／採集・寄贈者不明
- HMG-1443：アンモナイト(*Calycoceras* sp.)／
2007-025／千歳化石会（服部 義幸）
- HMG-1444：アンモナイト(*Calycoceras* sp.)／
2007-026／千歳化石会（服部 義幸）

【自然系資料（HMB）】（現生生物）：1点

- HMB-124：剥製標本（コウライキジ）／
2007-052／弦巻 陽子

【人文系資料（HMC）】（生活・歴史等）：0点

V 資料の貸出

平成6(1994)年8月17日～平成20(2008)年3月31日
ウミガメ化石 (HMG-366, 367, 1053, 1054, 1055 : 5点) : 早稲田大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京平成大学)

平成7(1995)年4月1日～平成20(2008)年3月31日
アンモナイト (HMG-842)・イノセラムス (HMG-883) (2点) : 穂別地球体験館

平成7(1995)年5月11日～平成20(2008)年3月31日
ウミガメ化石 (HMG-1063, 1064 : 2点) : 早稲田大学 平山 廉博士 (旧所属 : 帝京平成大学)

平成7(1995)年4月1日～平成20(2008)年3月31日
剥製標本 (HMB-2, 3, 4, 7, 9, 11, 12, 17, 19, 21, 22, 25, 26, 29, 30, 40, 41, 43, 98, 99 : 計20点) : 穂別町立穂別小学校

平成8(1996)年6月14日～平成20(2008)年3月31日
剥製標本 (HMB-36, 47 : 2点), ジオラマ (HMC-2797, 2798, 2799, 2821 : 4点) : 穂別町立穂別小学校

平成9(1997)年6月27日～平成20(2008)年3月31日
アンモナイト (HMG-911, 936 : 2点) : 工業技術院地質調査所地質標本館 利光誠一博士
(以上、継続貸出)
(以下、新規貸出)

平成19(2007)年3月27日～6月26日
写真 (アルバータ州立恐竜公園における学芸員研修写真 : 15枚) : 北海道開拓記念館

平成19(2007)年4月11日～平成20(2008)年3月31日
アンモナイト (HMG-841) : 地球体験館

平成19(2007)年6月8日～平成20(2008)年10月17日
ケントリオドン・ホベツ模式標本 (HMG-387) : 福井県立恐竜博物館

平成19(2007)年6月8日
写真 (ケントリオドン・ホベツ模式標本 HMG-388) の使用許可 : 福井県立恐竜博物館

平成19(2007)年6月24日
展示資料写真の使用許可 : 株式会社日本旅行

平成19(2007)年7月17日～平成19(2007)年9月5日
長頸竜化石 (HMG-350) ほか穂別産化石44点 : 斜里町立知床博物館

平成19(2007)年7月19日
写真 (冬山運材<HMC-2193、2194>) の使用許可 : 北海道新聞帯広支社

平成19(2007)年9月9日～平成20(2008)年2月29日
アンモナイト (HMG-130、565、901、929) : 日本科学未来館

平成19(2007)年9月7日

写真 (翼竜化石 HMG-1052) の使用許可 : 株式会社ニユートンプレス

平成19(2007)年10月15日～平成20(2008)年3月31日
クジラ化石 (HMG-382)・二枚貝化石 (HMG-1438、1439) : 東京大学 棚部 一成教授

平成19(2007)年11月25日～平成19(2007)年11月27日
石炭箱 (HMC-190)・石炭ストーブ (HMC-189)・卓台 (HMC-3136) : 田んぼdeミュージカル製作委員会

●調査研究活動ほか

I 調査研究活動

【脊椎動物化石】

櫻井 和彦：「北海道むかわ町穂別の脊椎動物化石」
（日本地質学会第114年学術大会〈北海道大学〉
にて学会発表）

櫻井 和彦：「穂別とその周辺地域で発見されたモ
ササウルス化石」（研究報告第23号、下記）

【その他】

櫻井 和彦・臼杵 昌子・古沢 仁・加納 学・東 豊
土・澤村 寛、2007、北の町の地質系博物館めぐ
り〈北海道横断編〉、地質雑誌、第113巻 補遺、
p153-165.

【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

博物館大会(紋別市)：欠席

平成19(2007)年9月27日

北海道博物館協会学芸職員部会 総会・研修会(白
老町)：学芸員出席

[日胆地区博物館等連絡協議会]

平成19(2007)年5月30日-31日

総会(室蘭市)：学芸員出席

※職員研修会は、学芸員部会研修会と合同で実施

平成20(2008)年3月19日

館長会議・拡大役員会(苫小牧市)：学芸員出席(理
事)

[ミュージアムマネジメント]：欠席

II 刊 行 物

【むかわ町立穂別博物館研究報告】

第23号、11頁：平成20(2008)年3月31日発行
〈掲載論文〉

櫻井 和彦：穂別とその周辺地域で発見されたモ
ササウルス化石、p. 1-11.

【むかわ町立穂別博物館館報】

第24号、(平成18<2006>年度版)18p：
平成20(2008)年1月発行

III 学会・大会・研修会等への参加

【学会・研修会等】

[日本地質学会]

平成19(2007)年9月9日-13日：

日本地質学会第114年学術大会(北海道大学)：

学芸員出席

学会発表「北海道むかわ町穂別の脊椎動物化石」
(9/11)

「地質情報展2007」に出展(準備9/6)、展示解説
(9/9)

夜間小集会「博物館とジオパーク」に参加(9/10)

見学旅行K班「北海道の地質系博物館」の企画、
同行案内(9/12-13)

IV 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

平成19(2007)年：

5月11日：穂別博物館協力会総会

6月 6日：学習用地の整備(崩土除去・水洗)

10月18日：穂別炭鉱跡地質調査の案内(高橋 博志
会員)

11月30日：穂別炭鉱について聞き取り(高橋 博志
会員)

平成19年度寄贈資料：化石ノジュール (2件・200点)

【千歳化石会】

平成19(2007)年：

4月29日：野外調査

7月 1日：野外調査

10月7日：野外調査

11月3日：野外調査

11月25日：総会

平成19年度寄贈資料：化石ノジュール (7件・9点)

●運 営

I 行事等

【学校訪問（利用案内）】

平成20(2008)年：

- 2月 7日：穂別地区（穂別高・穂別中・仁和中・
仁和小・和泉小）
- 2月 8日：穂別地区（穂別小・富内小・稲里小）
- 2月12日：鵜川地区（鵜川高・鵜川中央小・宮戸
小・鵜川中・生田小）

【中央生活館の展示（民俗資料の展示）】

平成19(2007)年6月27日：展示資料の入れ換え

【地域資源活用事業 検討会】

- ＜平成19(2007)年12月15日＞第3回打合せ
- ＜平成20(2008)年1月29日＞検討会議（支所担当者）
- ＜平成20(2008)年2月13日＞第4回打合せ

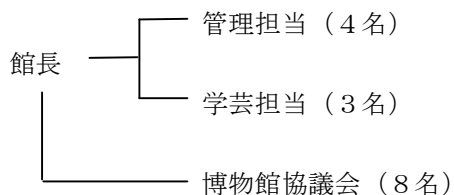
【洞爺湖サミット関連事業】

- ＜平成20(2008)年2月4日＞第3回打合せ
- ＜平成20(2008)年3月26日＞第6回打合せ

【研修の受入れ】

今年度受け入れなし

II 組 織



【博物館協議会委員】（平成19(2007)年度）

平成19(2007)年8月1日～平成20(2008)年3月31日

会 長	荒 木 新太郎
副会長	梅 津 譲 一
委 員	内 海 由紀江
委 員	鎌 田 政 博
委 員	菊 地 啓 允
委 員	小石川 武 美
委 員	佐 藤 稔
委 員	只 野 繁

【博物館職員】（平成19(2007)年度）

＜館 長＞	柏 恵 一
＜管理担当職員＞	
臨時職員（事務補助）	中 島 美 香
臨時職員（受付）	芥 川 紀 子
臨時職員（受付）	深 谷 文 子
臨時職員（清掃）	多 村 こゆる
＜学芸担当職員＞	
学 芸 員	櫻 井 和 彦
普 及 員	打 本 香 織
臨時職員（補助員）	下 山 正 美

Ⅲ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成19(2007)年4月～平成20(2008)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	662	269	931	26
5	1,575	908	2,483	26
6	351	218	569	26
7	781	358	1,139	31
8	1,826	1,344	3,170	31
9	600	241	841	24
10	508	158	666	25
11	411	247	658	26
12	49	26	75	25
1	47	34	81	21
2	22	12	34	24
3	151	55	206	26
計	6,983	3,870	10,853	311

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

＜博物館開館記念日関連事業＞

7月20日の開館記念日に関連して、平成19(2007)年7月16日(月)～7月22日(日)の7日間を町民無料入館の日とした。

＜国際博物館の日＞

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977年）にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5月18日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

実施日	行事名	一般	学生	計
5.18	国際博物館の日	15	7	22
7.16～22	博物館開館記念日	8	5	13
9.17	敬老の日	2	0	2
11.3	文化の日	3	2	5
11.23	勤労感謝の日	9	4	13
'08.1.14	成人の日	1	0	1
計	延べ12日	31	13	56

学生：小・中・高校生

(単位：人)

【学校週五日制関連事業】

＜町内児童生徒に対する入館料減免＞

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。

平成19年度の利用者数：349人（個人見学のみ）

Ⅳ 歳入

区 分		有料入館者数	使用料
一般	個人	4,334	1,300
	団体	322	64
	割引	2,044	409
学生	個人	1,660	166
	団体	764	38
	割引	915	46
小計		10,039	2,023
諸収入		物品販売代	7
		私用電話料	1
小計			8
合 計			2,031

(単位：人・千円)

Ⅴ 歳出

費 目	金 額
報 酬	1,849
共 済 費	481
賃 金	3,673
報 償 費	50
旅 費	73
需 用 費	6,259
役 務 費	388
委 託 料	1,776
使 用 料 及 び 賃 借 料	370
原 材 料 費	105
負担金補助及び交付金	44
博 物 館 費 合 計	15,068

(単位：千円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
 - ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日、日曜日及び月曜日にあたるときは火曜日。
 - ・館内整理日。
 - ・12月31日～1月5日。
- *ただし、7、8月は休まず開館。

【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円
***割引	100円	無料

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

* 学生：小・中学生・高校生

** 団体：10人以上

***割引：地球体験館との共通利用割引

【減 免】

「（むかわ町）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めたときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

- 1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合

（研究目的）

- 2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

（福祉目的）

- 3) 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合
- 4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第19条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

（公益目的）

- 5) 前各号に定めるもののほか、公益上又は教育振興上特に館長が必要と認める場合

むかわ町立穂別博物館館報

第25号

平成19（2007）年度版

発行 2009年1月

発行者 むかわ町立穂別博物館

〒054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別80番地6

TEL/FAX (0145) 45-3141